

農場研修報告① 小方 可奈江

農場研修として、尾田牧場様に一週間、M農場様に一ヵ月間、勉強させていただきました。今回は、第一弾として、尾田牧場様での研修をまとめて報告させていただきます。

<こんなこと、知らなかった！>

① 経産牛群の連動スタンションの数が変則的！

経産牛は幅をとるので5,6,5,6とスタンションの数が交互になっていました！
普段診療に行くだけでは気づかない牛舎の工夫が他にもたくさん！！

尾田牧場様では、必ず搾乳後は一度スタンションに牛をかけて、そこで自家治療を行ったり、個体ごとの便の状態を見たり、出来る。また、そのおかげか残餌も少なく食べさせるとおっしゃっていました！



② DD 対策

1. 1週間の内4,5日連続で、蹄浴を発泡剤を用いて行っておりました！

○材料：硫酸銅、αフォーム(発泡剤)、HEALTHY FOOT

搾乳後にパーラーからのお帰り通路で行っております！

残留時間が長いので、発泡剤はお勧めです。

2. 搾乳中に DD を見つけたらその場で対処

スプレータイプでシュシュっと！簡単！！

○材料：アルコールスプレー500ml、オキシテトラサイクリン乳房炎用液 NZ 3容器

パラレルパーラーでは DD が目の前に見えます。



③ 乳房炎になる法則！？

尾田牧場様ではある法則で乳房炎になることがわかったそうです！

- 1. 軟便が3日以上続く！
- 2. 湿度80%以上が3日以上続く！！

1のとき、ルーメンにおける異常発酵が起こっていて、ルーメンアシドーシスになり、牛の免疫力が下がっている可能性が考えられます、また、2の湿度が高いと、原因菌の増殖が活発になると考えられます。



<インタビューさせていただきました！！>

① 一番気を付けていることは何ですか？

・便の状態を見ること

→軟便になった時はその原因を探し対策する！

過去に実施した対策は

1. サイレージ水分の変動が多いため、輸入のオーツヘイ 1-1.5kg/頭/日 追加
2. カビ吸着剤 20g → 60g/頭/日 に変更

以上で便の状態が良くなったそうです。

② 一番やりがいを感じる時はいつですか？

・牛群全体が健康でいること！

とにかく牛の変化にすぐ気づくことで予防処置を行っております。



みんな便
良いね！

③ 牛の存在とは？

・今飼っている牛はみんな大人しくて可愛い！

精液はパーラーで搾りやすいように、必ず足が短く、股裂き少なく、足が寄っていない種牛を選択しています。それでも、生まれてこないとどのような体型の牛が生まれてくるかわからないので、F1はつけずに、とにかくホルスタインのみつけて、後継牛を確保しているそうです。

どんな牛が生まれてくるかがいつも楽しみだとおっしゃっていました。

④ ターニングポイントは何ですか？

・フリーストール牛舎になって(22年)、TMRの難しさ、サイレージの品質管理の大変さを知ったとき取り入れた情報はとにかくやってみる！と日々試行錯誤し、牛の反応を見てきました。

⑤ 飼い方で昔と一番変わったこと

餌の設計

・乾乳前期、乾乳後期の穀物の量がかなり減って、“high fiber low energy”の考え方になった。

・土地が増えたことで、一番草がたくさん作れるようになり、搾乳牛と乾乳後期には一番草のみを使えるようになった。二番草は育成牛と乾乳前期に使い、余った分は売っています。

以上、短い期間ではありましたが、搾乳作業(パラレルパーラー、8頭ダブル)、乳検、ベットメイキング、餌作り、肥料まき、敷料足す作業等フルコースで研修させていただき、貴重な体験となりました。

たくさんの経験談や知識をお話していただきました。自分の成長に生かせるよう、今後も頑張っていきたいです。

尾田牧場の皆さまに深く感謝申し上げます。

小方 可奈江



こんなに気持ち良さそうに眠る牛も！！